

# 校長室だより



【1～3年学校保健委員会】

豊川市立東部小学校

令和6年2月15日

## 大谷選手のグローブ届く

クリスマス頃から全国の各小学校に届いていたあのグローブが、やっと東部小学校にも届きました。2月6日(火)のここにこ集会で、大谷翔平選手に扮した本校職員が6年生代表児童3名にグローブを手渡しました。大谷選手(?)と代表児童がステージ上でキャッチボールをし、グローブと一緒に届いたメッセージ、「私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルになることを望んでいます」の内容が伝えられました。この日から数日間かけて、全校児童にグローブをはめてもらう体験をしてもらいました。低学年のクラスから順にグローブを回して、一人ずつ記念撮影をしました。低学年児童では、初めてグローブをはめた子が大多数でした。グローブをはめた感想を尋ねると、「うれしい」「中がふわふわだった」「思ったより軽かった」「大きかった」「サインがかっこよかった」といろいろな感想を聞かせてくれました。共通することはみんな笑顔で、少し興奮気味だったことです。低学年でも大谷選手を知らない児童はいない様子で、知名度の高さを改めて感じました。



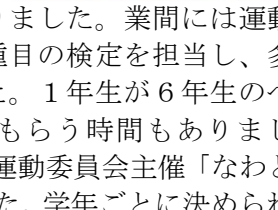
## 昔あそびと節分の会

コロナ禍でずっと中止になっていた1年生児童を対象とした「めざせ! 昔あそび名人」と「節分」を、2月2日(金)に校区老人会のみなさん27名のご協力をいただいて行いました。前半は、こま、けん玉、めんこ、あやとりなど8つの遊びグループに分かれ、グループごとに老人会の方にコツを教わりながら昔遊びを楽しみました。後半は「節分」に関する内容。3択クイズが出され、子どもたちが老人会の方に答えを教えていただきながら答えました。その後、自分がやっつけた鬼を書いた紙を丸めて、鬼の絵に向かって元気よく「鬼はそと!」。最後はステージ上から老人会のみなさんに豆とお菓子を投げいただき、子どもたちが拾いました。子どもたちは終始、目を輝かせて活動しており、どの子も「楽しかった!」と声をあげていました。校区老人会のみなさんと子どもたちとの、とてもよいふれあいの場になったと感じています。



## なわとび月間の取組

1月11日～2月9日をなわとび月間とし、様々な取組をしました。全校児童になわとびカードが配られ、体育授業や業間をつかっていろいろな種目をできるようにしていきました。運動場になわとび台が設置されると、順番を待つ子どもたちの列ができました。低学年でもたくさんの子が、二重跳びができるようになりました。業間には運動委員がなわとびカードの種目の検定を担当し、多くの子が挑戦していました。1年生が6年生のペアの子に跳び方を教えてもらう時間もありました。2月8日(木)には、運動委員会主催「なわとびリレー集会」を行いました。学年ごとに決められた跳び方で、ひっかかったら次の子へとリレーし、クラスで何分間跳べるかに挑戦しました。クラスの子からもペア学年の子からも「がんばれ!」の声援があちこちから聞こえ、温かな雰囲気の良い集会になりました。



【5年耐震講座】



【3年消防署見学】



【6年租税教室】



【お花のクイズラリー】